

2022年7月1日

## デジタル技術を融合させた新たな3Dプリンター研究開発拠点の設立

株式会社NTTデータ ザムテクノロジーズ

株式会社NTTデータ ザムテクノロジーズ(以下、XAM)は、3Dプリンター技術とデジタル技術を掛け合わせるにより、これまでにないモノづくりを実現することを目的とし、デジタルマニュファクチャリングセンター(以下、DMC)を設立いたしました。

DMCでは、これまでXAMが培ってきた3Dプリンターの知見に、株式会社NTTデータ(以下、NTTデータ)と共同で開発したソフトウェアを掛け合わせることで、3Dプリンターを活用したモノづくりの生産効率向上や品質保証の実現に努めて参ります。これにより、3Dプリンターのトータルソリューションプロバイダーとしての価値を高めると同時に、ユーザー企業様やパートナー企業様との共創を促進し、3Dプリンター技術の普及に向けてより一層貢献していきます。

### 【“デジタルマニュファクチャリングセンター“という名称に込めた想い】

3Dプリンターは、モノづくりに革新をもたらす新たな製造技術として広く認知されています。

一方で、私たちは、3Dプリンターを単なる「モノづくりのための製造技術」と捉えている訳ではありません。私たちは、3Dプリンターを「モノづくりのデジタル化や、DXによる変革において重要な役割を担う技術」だと考えています。

3Dプリンターは、デジタルデータから直接モノをつくることのできる技術です。そのため、デジタルデータを保有しておけばあらゆる場所で同様の部品を造形する分散製造や、在庫を保管しておかずとも必要な時に必要な部品を調達できるオンデマンド製造の実現が可能となります。

さらには、3Dプリンターでモノを製造する過程で、大量のデータが生み出され、デジタル情報として保持していくことも可能です。それらの情報を活用することで、バリューチェーンの高度化や製造プロセスの効率化も実現できると考えています。

XAMは、これまでもAMデザインラボといった技術開発拠点を保有し、アプリケーション開発支援から小ロット最終製品の生産に至るまで、3Dプリンターを量産技術として活用するための支援を行ってきました。今回設立するDMCでは、AMデザインラボの機能を引き継ぐと同時に、3Dプリンターの持つデジタルの可能性を広く活用していくことで、新たなモノづくりの実現に貢献していきたいと考えています。

単なる「モノづくりのための製造技術」としての3Dプリンター工場ではなく、デジタル技術を融合させ、3Dプリンターの持つ可能性を最大限引き出し、3Dプリンターの普及・促進に貢献していきたいという想いから、“デジタルマニュファクチャリングセンター”という名称を付けました。

### 【DMCを通じて実現したいこと】

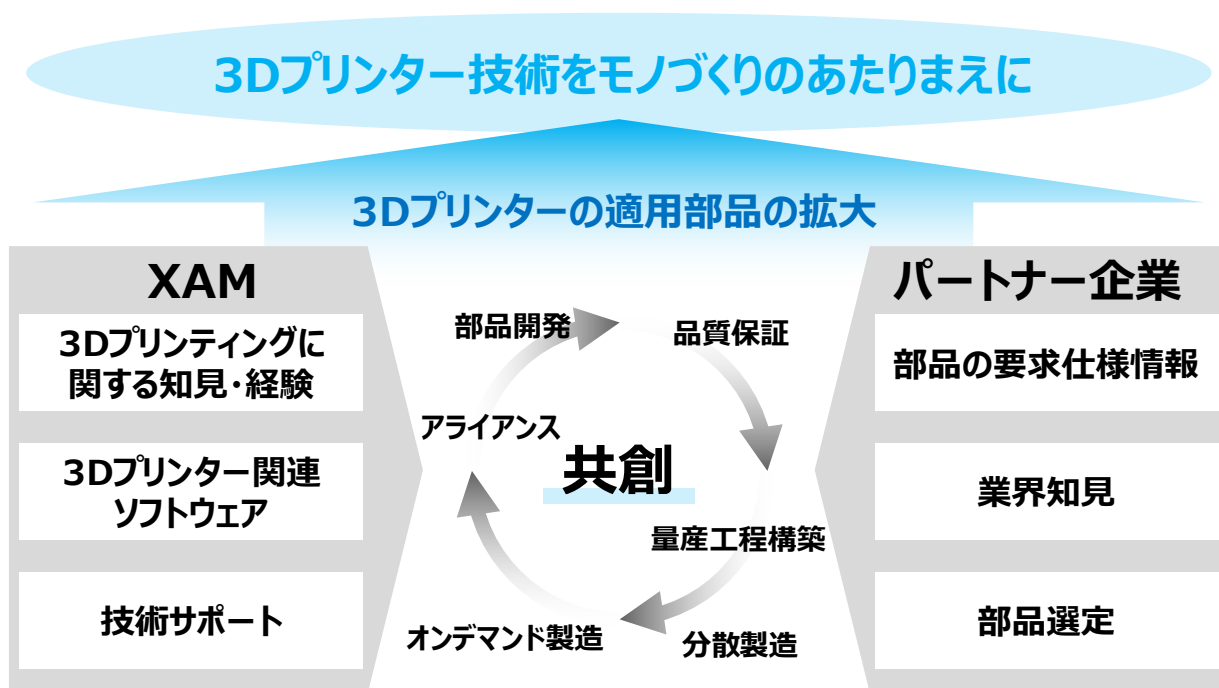
3Dプリンターの普及において、コストや品質保証は大きなハードルとなっています。

DMCでは、デジタル技術を掛け合わせることで、そのような課題を解消していく取り組みを進めていきます。

例えば、3Dプリンターで造形していく中で、品質に影響を及ぼす変数(レーザーパワー、酸素濃度、庫内温度/湿度、ガスフロー、余熱温度等)を計測・収集していくことができます。そして、集めたデータをもとにモデルを構築し、プロセスを可視化することによって、品質保証の一助とすることが可能です。

DMCでは、これらのメリットを手軽に享受できるよう、ソフトウェア開発を進め、自社で実際に活用・改良していくことで、高品質のソフトウェアの実現を目指していきます。そして、将来的には自社だけではなく、ユーザー企業様やパートナー企業様にもこのソフトウェアを活用していただくことで、3Dプリンター技術を活用したモノづくりに取り組みやすい環境を実現していきたいと考えています。

XAM はこれからも、ユーザー企業様やパートナー企業様と共創し、解決すべき課題やニーズを見出しながら、有用なソリューションを創出していきます。今回設立する DMC が、共創をさらに促進させ、3D プリンターをものづくりのあたりまえとすることに貢献する場としていきたいと考えています。



【本件に関するお問い合わせ先】

|   |   |
|---|---|
| ■ 報道関係のお問い合わせ先<br>株式会社NTTデータ<br>広報部<br>Tel:03-5546-8051 | ■ 製品・サービスに関するお問い合わせ先<br>株式会社NTTデータ ザムテクノロジーズ<br>営業統括部 マーケティング部<br>竹内 典子<br>Tel:03-6433-0577 |
|---|---|